



中筋小学校だより

校訓 ～ 強い身体 正しい心 ～

舞鶴市立中筋小学校
学校だより 1学期末号
令和5年7月20日発行

<http://nakasuji.maizuru.edumap.jp/>

☎ 75-0372



「継続は力なり！」

安全で、自分を高める夏休みに



全国各地で人の体温を超えるような猛暑の日があったり、記録的な豪雨により甚大な被害が出たりと、本当に地球が悲鳴を上げていると思わざるを得ない日々が続きます。コロナ感染防止、熱中症、登下校の安全と児童の安心安全を常に考えることが求められる毎日です。

さて、本日、無事に1学期を終了しました。4月には107名の1年生を迎え、全校児童663名がそれぞれに力を伸ばしました。4月当初から1年生を温かく連れて登校してくれた高学年。毎朝のあいさつ当番運動の成果もあり、元気よく、目と目を合わせてあいさつをし、朝から学校に活気がありました。

また、全校児童が中筋小学校の一員として「居場所」「やりがい」「つながり」づくりに、勉強面でも生活面でも一人一人が全力で取り組みました。元気に集団遊びをしたり、係や委員会などの仕事の責任をきちんと果たしたりできました。さらに、児童会本部の取組を始め、どの委員会も工夫した活動を展開し、学級では、係の仕事等を通して、人とかわりながら学校生活を楽しむことができました。

そんな子どもたちは、朝は、地域の安全見守り隊の皆様に見守られ、下校時にはお母さん方や安全見守り隊の皆様を迎えていただき、この1学期間、保護者・地域の皆様方の温かいご支援とご協力により、元気をいただいて学校生活が過ごせましたこと、誠にありがとうございました。

1つ1つの取組や行事を通して、子どもたちは、個々の「よさ」や「可能性」など、持てる力を発揮して大きく成長した1学期でした。また、いじめや命の大切さについても考えた1学期でした。

いよいよ明日からは夏休みです。40日間の夏休みは、家庭や地域で過ごし、「じりつ（自立と自律）」の力をより一層はぐくむチャンスです。ご家庭では、「継続は力なり」を合い言葉に、以下の点に挑戦させてください。

①じりつ（自立と自律）…「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムを崩さず、自分のことは自分ですること。

夏休み中にテレビやゲーム依存にならないように、ゲームをしない日の設定やゲームの時間を守ること。

②安全…水の事故、熱中症、交通事故、連れ去り等から自分の身を守ること。

③挑戦…何か、一つのことをやり通すこと。

④仕事…家族の一員として家の仕事をする。段取りを考えて工夫し、粘り強く続けることは、「社会生活を営む能力、非認知能力」につながります。家族の一員としての自覚も生まれ、「ありがとう」「助かった」の一言で人の役に立つという自己有用感が得られます。



継続すること・・・玄関の履き物を揃える、洗い物をする、洗濯物を干す、自分が脱いだパジャマを所定の場所に置く、また、毎朝縄跳びをする、読書をする、新聞を読む、日記を書く、100マス計算をする等々、どんなことでも毎日続けることが大きな力になります。学年に応じて、ちょっとしたチャレンジをさせてください。こんなことと思うようなことでも身に付けば生活が変わります。

保護者の皆様には長くて大変な夏休みだと思いますが、子どもたちには貴重な体験のできる大切な機会ですので、毎日の生活の中に目標を持たせてください。

最後に同じ校区に住んで支援学校に通学している子どもさんが、夏休み中に地域の行事と一緒に参加できますよう、格別のご配慮をよろしく願いいたします。これからも厳しい暑さが続きます。皆様のご健康とこの夏休みが子どもたちにとって、事故のない意義のあるものとなりますよう祈念しております。

校長 亀井 敬介 教職員一同

学校運営協議会

学校の運営に対して、いろいろとご意見をいただく学校運営協議会の委員の皆様をご紹介します。1年間お世話になります。よろしく願いいたします。

会長 福島 イツヨ様 副会長 生橋 勝矢様 委員 網干 勝之様
委員 嵯峨根 貴様 委員 櫻井ひろ子様 委員 浅井 久志様
委員 甲斐嶋 祐介様

去る7月5日（水）には、第1学期学校運営協議会を開催いたしました。今年度の学校運営について校長が、6月のいじめアンケートの結果を教頭が説明した後、児童の学習の様子を参観していただきました。その後、授業の様子を参観しての感想やいじめの現状、児童の人間関係づくりなどについて、様々な角度から貴重なご意見を頂戴しました。今後の学校運営に生かしてまいりたいと思います。ありがとうございました。

意見交流の後は、給食を試食していただきました。



タブレットの持ち帰りについて
この夏休みには、三年生以上は、タブレットを持ち帰る予定です。それぞれの学年ごとに課題が出されています。長い夏休みの間の持ち帰りということで、子どもたちには、その扱い方について、再度指導をしております。別紙でも注意点をまとめた手紙も配布しておりますので、ご家庭でも使い方について、お子様と話していただきますようお願いいたします。また、どんなふうにも学習に使っているか、お子様のタブレットの内容もご覧いただければ幸いです。